2016 年 10 月 28 日
社会福祉法人 彦成福祉会

HIKONARIFUKUSHIKAI H-TOWN News Release

各　　位

特別養護老人ホーム「百年健康くらぶ 彦成苑」で入所者の個展「和紙細工の世界」を開催

自己表現や創作活動を支援し、介護・生活レベルの改善を達成。

社会福祉法人 彦成福祉会（所在地：埼玉県三郷市、理事長：佐藤伸泰)が運営する特別養護老人ホーム「百年健康くらぶ　彦成苑」（三郷市上彦名）では、2016 年 11 月 6 日(日)～同 27 日(日)の 22 日間、入所者である南野静子さん(86 歳)の初個展「匠の技　和紙細工の世界」を開催します。会場は「彦成苑」１階多目的室を一般公開し、開催時間は 10:00～16:00、入場無料、会期中無休です。

彦成苑で作成した開催ポスター

作品の一部（上）と彦成苑外観（下）

南野静子さんは昨年 8 月にご自宅で転倒され、右手・右腕を骨折。約 2 か月間病院に入院され、退院後も要介護の認定を受けました。そして自宅に近い地域密着の介護施設で、これまでの日常習慣・生活リズム・ご自身の趣味嗜好をできるだけ維持しながら介護を受けたいと希望され、「彦成苑」をお選びいただいて、同年 10 月 15 日に入所されました。

「彦成苑」は、9～10 室の個室と共有スペースで構成した 1 ユニット単位で共同生活を送る「ユニットケア」方式を採用しています。施設全体では 3 ユニット、個室が 29 室あり、特別養護老人ホームには珍しい木造 2 階建ての建物で、家庭的で落ち着いた雰囲気が特長です。

入所当時、南野さんはベッドから起き上がることもできない状態でしたが、医師も驚くほどの努力でリハビリテーションに取り組まれました。それを見た担当の介護スタッフは、50 歳代からのご趣味であった「和紙細工」を、無理のない範囲で再開されるよう南野さんにお勧めし、材料の調達や加工のお手伝いをする等の便宜を図りました。

南野さんにはかつて洋裁教室や和紙細工教室の講師をされた経歴があり、入所後 6 か月ほどの間に、指先などの運動機能も徐々に回復。細かい作業用のピンセット等も扱えるようになって、毎日 4～5 時間も創作活動に打ち込まれ、生活の質が向上すると共に半年で 100 点以上の作品を制作されました。

作品は、紙管・段ボール紙・牛乳パック等に和紙を貼り込んで加工した器、フォトフレームや、糸・リボン・レース・軍手等の布地も使った人形などです。南野さんは「ニチイのにじ色作品展」優秀賞の受賞歴、中国北京で開催の「中国介護サービス業博覧会」への出展経歴もお持ちです。

今は、月に 1～2 度はお嬢様と一緒に素材の買い出しに出かけること、作品をご友人にプレゼントできることが楽しみとおっしゃいます。今後は、ひな人形等の大作にも挑戦したいと意欲を燃やされています。

社会福祉法人 彦成福祉会では、ご高齢者により健康で充実した日常生活を送っていただくよう、今後も施設入所者の自己表現や創作活動をバックアップしたい考えです。

◆ このニュースリリースに関するお問い合わせ先 ◆

社会福祉法人 彦成福祉会（広報担当：大山 雅史　携帯:090-9380-4740）

e-mail：kouhou@matsui-sangyou.co.jp

特別養護老人ホーム「百年健康くらぶ 彦成苑」

所在地：〒341-0004　埼玉県三郷市上彦名 127 番地 3

TEL：048-957-6111　FAX：048-957-6112　HP：http://www.hikonarien.com